



コンポジットレジン

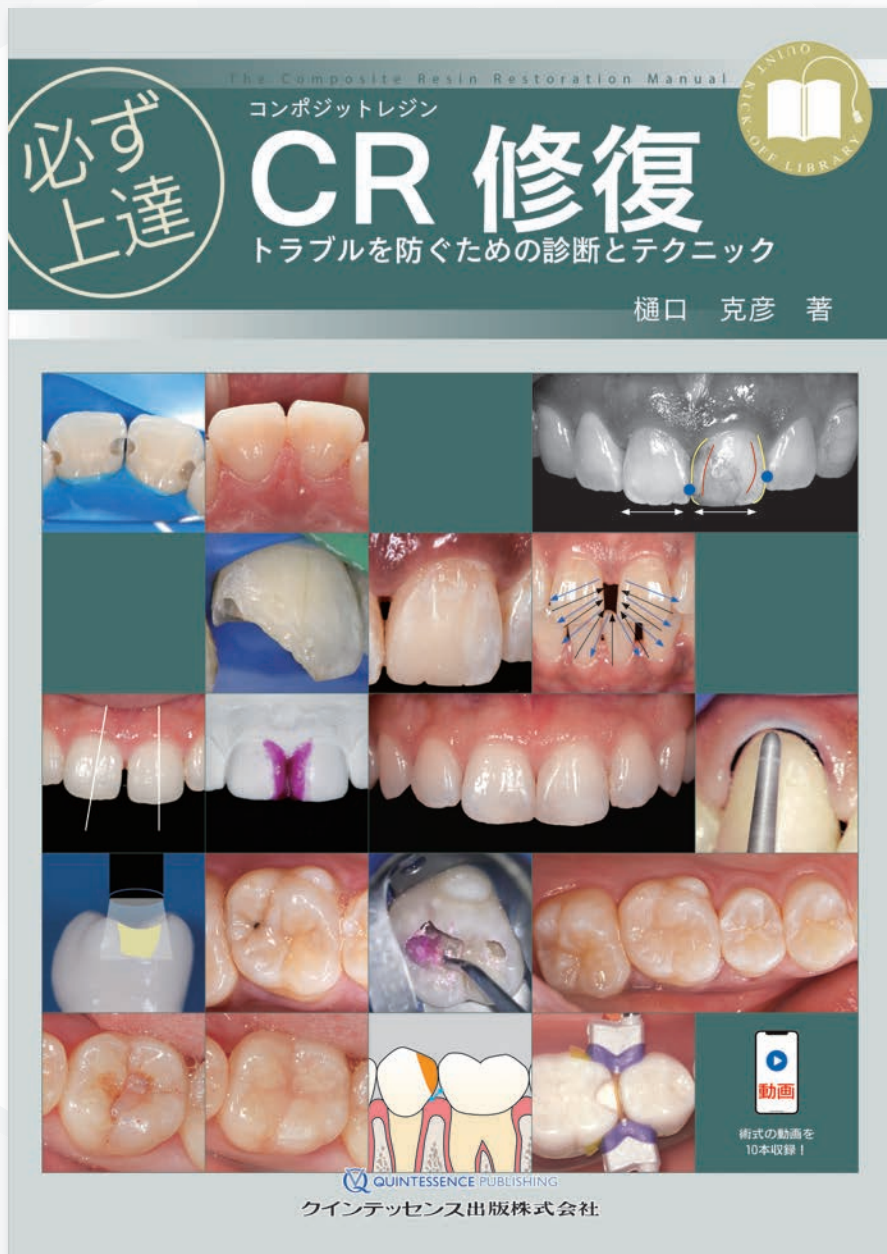
CR 修復

トラブルを防ぐための診断とテクニック



まずは基本に立ち返る

**修復処置の基本から接着・充填操作の実際まで、
どんなケースにも対応できる CR 実践マニュアル!**



樋口 克彦 著

う蝕治療だけでなく正中離開などへの対応、形態付与や隣接面のコンタクトポイントの回復、審美的な改善など、本書ではCR修復の利点を活かした治療の実際を紹介している。トラブルを未然に防ぐための基本的手技の解説と、適応症や接着操作、充填操作に関しては前歯部と臼歯部のケースに分け、その要点を述べた。さらに失敗例や長期症例を示すことで、より日常臨床に即した内容となっている。開業医だからこそ活用できる必携の書。

CONTENTS

CHAPTER 1 CR 修復の基礎知識

CHAPTER 2 部位ごとの勘所を知る：前歯部編

CHAPTER 3 部位ごとの勘所を知る：臼歯部編

CHAPTER 4 失敗症例から学ぶ



術式の動画を
10本収録!



開業医だからこそ活用できる、さらなるスキルアップのための実践書！

CHAPTER 1 CR 修復の基礎知識

1. CR 修復をこう考えよう
2. CR 修復の適応範囲を考える
 - 1 広がる適応範囲
 - 2 臼歯部咬合面の適応範囲
 - 3 臼歯部隣接面の適応範囲
 - 4 歯頸部の適応範囲
 - 5 前歯部の適応範囲
3. 接着操作の基本とは
 - 1 う蝕の除去
 - 2 接着材料の使い分けとして
 - 3 防湿に関して
 - 4 エナメル質にリン酸エッチングを行うのか？
4. 必要機材
 - 1 う蝕除去
 - 2 接着材料
 - 3 充填用インスツルメント
 - 4 防湿器具
 - 5 光照射器
 - 6 充填用レジン(ペーストレジン)
 - 7 充填用レジン(フロアブルレジン)
 - 8 隣接面充填用器具
 - 9 研磨用具
 - 10 その他

CHAPTER 2 部位ごとの勘所を知る：前歯部編

1. う蝕
 - 1 前歯部隣接面う蝕に対して
 - 2 前歯部う蝕：3 級症例
舌側からアプローチを行ったケース／唇側からアプローチを行ったケース／唇側からアプローチを行ったケース／唇側の遊離エナメル質を大きく残したケース／術中の歯の乾燥によりシェードを苦慮した白斑のケース
 - 3 4 級窩洞への考え方
形態について／色調について／表面性状について
 - 4 4 級症例
充填を分けて行ったケース／舌側に歯質が残存しているケース
切縁部の色調を考慮したケース
2. 正中離開
 - 1 審美的要求度が高い正中離開
 - 2 正中離開症例
軽度の離開を充填したケース／離開が比較的広いケース／歯軸を考慮して充填を行ったケース／顔貌から歯軸を見たケース／歯の移動も行ったケース
3. 補綴との兼ね合い
 - 1 形態、色調、適応症、経年的な変化への対応がポイント
 - 2 補綴装置を含めた前歯部の充填症例
単独歯補綴と調和を図ったケース／補綴装置と CR で形態を改善したケース／変色歯へ補綴装置と CR で対応したケース
4. コンポジットベニア
 - 1 ラミネートベニアより MI なコンポジットベニア
 - 2 コンポジットベニア症例
左右中切歯をコンポジットベニアで対応したケース／矮小歯へ充填を行ったケース／再治療を行ったケース

CHAPTER 3 部位ごとの勘所を知る：臼歯部編

1. 1 級窩洞
 - 1 咬合面へのアプローチ
 - 2 咬合面う蝕症例
咬頭の 3 分の 2 程度残存しているケース／咬頭の 2 分の 1 程度残存しているケース／遊離エナメル質を残したケース／窩洞を分けて行う修復処置
2. 2 級窩洞
 - 1 CR 充填で窩底部が硬化していないケース
 - 2 辺縁の適合に関して
 - 3 隣接面う蝕症例
歯質の削合を抑えようとしたケース／う蝕が隅角部近くまで到達していた症例／小臼歯の隣接面う蝕のケース
3. 5 級窩洞
 - 1 歯頸部へのアプローチ
 - 2 歯頸部う蝕症例
歯頸部う蝕のケース／経過を見ているケース

CHAPTER 4 失敗症例から学ぶ

1. 日常臨床での失敗回避に向けて
2. 来院前のトラブル
CR と歯質との境界に段差があり、そこからう蝕になったケース／レジンの破折による二次う蝕のケース
3. 治療中のトラブル
形態付与で左右の形態が非対称となったケース／形態が大きくなりすぎたケース／窩洞形成などへの配慮を欠いたケース／隅角部まで充填を行うケース／隣接面のう蝕を同時に充填した症例／コンタクトポイントの再現ができなかったケース
4. 経過を見ながらのトラブル
経過のなかでトラブルを起こしたケース／接着操作の不備によりトラブルを起こしたケース／表面性状がうまく再現できていないケース／ダイレクトブリッジの脱離を起こしたケース／経過を見ながらさまざまなトラブルを経験したケース

COLUMN

古い充填物を全部取るべし⇒ここが肝！
エックス線撮影および画像診断の重要性⇒ここが肝！
CR 充填の前に軟化象牙質を取る⇒ここが肝！
失敗症例から学ぶことの重要性
長期経過症例から何を学ぶか

きりとり線

注文書

必ず上達 CR (コンポジットレジン) 修復

モリタ商品コード:208040921

冊注文します。

●お名前	●貴院名	●ご指定歯科商店
●ご住所 (〒)		
●TEL	●FAX	
		支店・営業所

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。